

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		水害についての避難に不安がある。	水害発生時にはもばら和光苑に一人も残ることなく避難できる。	一宮川の水位により非常招集タイミングをどこに置くか運営推進会議で地元の方の意見を聞く。地元の方の協力がいただけるよう、普段から関係を密にしていく。水害マニュアルの作成。	9ヶ月
2		介護度の高い利用者が増え、介護度の低い方への支援が不足している。	歩行できることの喜びを感じてもらえるように、歩行を中心とした支援を行う。介護度の高い方は、食事をゆっくりと食べていただける支援を行う。	買い物や散歩など、日常で行える支援を増やしていく。	6ヶ月
3		利用者の最後の迎え方について家族との深い話し合いができていない。	家族の面会回数や面会時間が長くなるよう、面会の日に担当がいるようにお知らせできる。	職員のプライバシーに考慮し、担当の職員の勤務日をお知らせできないか検討する。合わせて新人職員に家族への紹介を行う。	6ヶ月
4		社会福祉法人として地域に貢献することができていない。	時間により使用していない車や建物の無料開放を行う。もばら和光苑を避難所として指定を受ける。	近隣の自治会と相談しながら進める。現在行っている買い物支援をどう発展させるかについても検討する。茂原市役所に避難所としての指定について相談する。	12ヶ月
5					

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。